

HT-01 ホットピックス01

Jp

5月20日(水) 9:50~11:50

第12会場(パシフィコ横浜 会議センター 4F 419)

日本がリードする再生医療・インプラントデバイスを用いた近未来リハビリテーション

座長：服部 憲明 富山大学附属病院 リハビリテーション科
三原 雅史 川崎医科大学 神経内科学

HT-01-1 現状の神経リハビリテーションの限界と細胞治療・BMIへの期待

和田 直樹 群馬大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学

HT-01-2 iPS細胞による脊髄損傷治療の可能性

名越 慈人 慶應義塾大学 整形外科

HT-01-3 植込み型ブレインマシンインターフェースを用いた神経難病の機能改善戦略

平田 雅之 大阪大学 脳機能診断再建学

HT-01-4 細胞・デバイス移植時代におけるあらたなりハビリテーション戦略の可能性

服部 憲明 富山大学附属病院 リハビリテーション科

後援：日本リハビリテーション医学会

HT-02 ホットピックス02

Jp

5月20日(水) 13:20~15:20

第08会場(パシフィコ横浜 会議センター 3F 315)

脳梗塞治療をバージョンアップする

座長：豊田 一則 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
秋山 久尚 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科学

HT-02-1 ドラッグロス、待たれる新規静注血栓溶解薬の登場

井上 学 国立循環器病研究センター 脳血管内科/独立行政法人医薬品医療機器総合機構
医務管理監・理事長特任補佐(医学統括担当)

HT-02-2 非心原性脳梗塞治療の進化

— DAPTからDPI(抗血小板薬+FXIa阻害薬)へ —

平野 照之 杏林大学医学部 脳卒中医学教室

HT-02-3 DOACから心臓デバイス治療へ

塩澤 真之 国立循環器病研究センター 脳血管内科

HT-02-4 脳梗塞発症予防を見据えた最新高血圧治療

— Na⁺恒常性と脳循環反応性の視点から —

吾郷 哲朗 九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学

HT-02-5 エダラボンから・・・、出て来い新規脳保護薬

上野 祐司 山梨大学医学部附属病院 神経内科

HT-03 ホットピックス03**Jp**

5月20日(水) 13:20～15:20

第09会場(パシフィコ横浜 会議センター 4F 414+415)

非定型パーキンソニズム：革新的治療へのアプローチ

座長：花島 律子 鳥取大学医学部脳神経医学講座 脳神経内科学分野
 下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科

HT-03-1 多系統萎縮症の病態機序と疾患修飾療法の現状

長谷川隆文 独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科

HT-03-2 進行性核上性麻痺の病態機序と疾患修飾療法の現状

下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科

HT-03-3 α シヌクレイノパチー、タウオパチーにおける免疫、炎症の関与

松瀬 大 九州大学病院 脳神経内科

HT-03-4 非定型パーキンソニズムに対する臨床開発

橋詰 淳 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部/名古屋大学大学院医学系研究科 臨床研究教育学

HT-03-5 Mimicsとしての自己免疫性パーキンソニズムの除外

大野 陽哉 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野

HT-04 ホットピックス04**Jp**

5月21日(木) 8:00～9:30

第09会場(パシフィコ横浜 会議センター 4F 414+415)

脊髄小脳変性症の治療最前線 — リハビリから臨床試験まで

座長：高橋 祐二 国立精神・神経医療研究センター 脳神経内科
 石原 智彦 新潟大学 脳研究所 脳神経内科

HT-04-1 遺伝性脊髄小脳変性症の治療開発最前線

石原 智彦 新潟大学 脳研究所 脳神経内科

HT-04-2 病態機序に則った多系統萎縮症の治療開発

三井 純 東京大学大学院医学系研究科 プレシジョンメディスン神経学講座

HT-04-3 遺伝性痙性対麻痺の治療開発に向けて

瀧山 嘉久 笹吹中央病院

HT-04-4 脊髄小脳変性症に対するリハビリテーション治療～機能改善と在宅生活の維持に向けて

宮井 一郎 社会医療法人大道会森之宮病院 神経リハビリテーション研究部

20
日21
日ホ
ット
ピ
ッ
ク
ス

Cell Transplantation Therapy for Parkinson's Disease: Clinical Trajectory and Future Outlook

Chairs : Atsushi Takeda

NHO Sendai Nishitaga Hospital, Japan

Tetsuya Maeda

Division of Neurology and Gerontology, Department of Internal Medicine,
School of Medicine, Iwate Medical University, Japan

HT-05-1 Phase I/II trial of iPS-cell-derived dopaminergic progenitors for Parkinson's disease

Nobukatsu Sawamoto

Department of Human Health Sciences, Kyoto University Graduate School of Medicine, Japan

HT-05-2 Phase I clinical trial of hESC derived dopaminergic neuron progenitors for Parkinson disease

Claire Henchcliffe

University of California, Irvine, USA

HT-05-3 Next steps in neuronal regenerative medicine

Jun Takahashi

Center for iPS Cell Research and Application, Kyoto University, Japan

臨床神経リハビリテーション四半世紀の進歩と未来展望

座長：福田 倫也 北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科

中馬 孝容 滋賀県立総合病院 リハビリテーション科

HT-06-1 パーキンソン病のリハビリテーション治療

中馬 孝容 滋賀県立総合病院 リハビリテーション科

HT-06-2 神経難病患者のみなさんの生活を支える意思伝達装置

富永奈保美 国際医療福祉大学市川病院 脳神経内科学

HT-06-3 e-sportsを活用した神経筋疾患患者の社会参加支援とリハビリテーションの実践

田中 栄一 国立病院機構 北海道医療センター 神経筋/成育センター

HT-06-4 痙縮に対する体外衝撃波治療の効果とメカニズム

見目 智紀 北里大学医学部整形外科

後援：日本リハビリテーション医学会

HT-07 ホットピックス07**JP**

5月21日(木) 15:10~17:10

第09会場(パシフィコ横浜 会議センター 4F 414+415)

**遺伝子編集が拓く脳神経疾患治療の未来
-CRISPRから国産技術まで研究の最前線-**座長: 永田 哲也 東京科学大学大学院
今村 恵子 京都大学 iPS細胞研究所**HT-07-1 国産ゲノム編集ツールを利用した遺伝子改変技術の開発**

山本 卓 広島大学 ゲノム編集イノベーションセンター

HT-07-2 国産ゲノム編集技術CRISPR-Cas3によるin vivo治療法の開発

真下 知士 東京大学医科学研究所先進動物ゲノム研究分野

HT-07-3 認知症におけるゲノム編集治療研究最前線

笹栗 弘貴 理化学研究所脳神経科学研究センター

HT-07-4 筋ジストロフィーに対するゲノム編集治療研究

堀田 秋津 京都大学 iPS細胞研究所

HT-07-5 3243A>G変異を持つMELAS患者に対する最新ゲノム編集法を用いた遺伝子治療法の開発

一般演題から採用

秦 龍二 大阪精神医療センター・こころの科学リサーチセンター

HT-07-6 神経変性疾患治療を目指した遺伝子編集研究

井上 治久 京都大学iPS細胞研究所/国立研究開発法人理化学研究所 バイオリソース研究センター

HT-08 ホットピックス08**JP**

5月22日(金) 8:00~9:30

第12会場(パシフィコ横浜 会議センター 4F 419)

ウイルスと神経変性疾患: 新たな病態解明から予防・治療戦略へ座長: 中嶋 秀人 日本大学医学部 内科学系神経内科学分野
山野 嘉久 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科**HT-08-1 多発性硬化症: EBV感染が誘発する自己免疫メカニズムの最前線**

森 雅裕 千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学

HT-08-2 HTLV-1関連脊髄症: ウイルスが誘発する自己抗原認識のゆらぎと神経障害

中島 誠 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 病因病態解析部門

HT-08-3 ヘルペスウイルス再発生化が駆動するAβ/タウ病態

濱野 忠則 金沢医科大学 高齢医学

HT-08-4 パーキンソン病: 感染後長期リスクとしてのαシヌクレイン病態

奥住 文美 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科/大阪公立大学大学院医学研究科 健康長寿医学講座

HT-08-5 筋萎縮性側索硬化症: 内在性レトロウイルスと神経炎症に着目した治療戦略

狩野 修 東邦大学医学部内科学講座 神経内科学分野

HT-08-6 EBウイルス再活性化によるネオセルフを介した自己免疫疾患発症機構

荒瀬 尚 大阪大学免疫学フロンティア研究センター免疫化学研究室/大阪大学微生物病研究所免疫化学分野

21
日22
日ホ
ッ
ト
ピ
ク
ス

Towards the realization of personalized nucleic acid medicine for ultra-rare neurological disorders

Chairs : Harumasa Nakamura

National Center of Neurology and Psychiatry, Japan

Hiroya Kuwahara

Department of Neurology and Neurological Science, Institute of Science
Tokyo, Japan

HT-09-1 Japan's National Strategy for Addressing Unmet Medical Needs in Rare Diseases

Hideshi Semba

National Healthcare Policy Secretariat, Cabinet Office, Government of Japan, Japan

HT-09-2 Pioneering implementation of personalized nucleic acid medicine

Sarah Glass

n-Lorem foundation, USA

HT-09-3 Efforts to identify the genetic causes of ultra-rare neurological disorders - Experience of IRUD -

Hidehiro Mizusawa

National Center of Neurology and Psychiatry, Japan / Institute of Science Tokyo, Japan

HT-09-4 Patient-derived iPSC motor neuron model identifies an ASO candidate therapy for HMSN-P

Chris Kato

Keio University Regenerative Medicine Research Center, Japan / Division of Neurodegenerative Disease Research, Tokyo Metropolitan Institute for Geriatrics and Gerontology, Japan

HT-09-5 Progress towards the clinical trials of personalized nucleic acid medicine in Japan

Hiroya Kuwahara

Department of Neurology and Neurological Science, Institute of Science Tokyo, Japan /
Nucleotide and Peptide Drug Discovery Center (TIDE), Institute of Science Tokyo, Japan